



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7244 URL http://www.ichikoh.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ヴィラット クリストフ  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 久野 友徳 (TEL) 0463-96-1442  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	92,068	△16.5	2,165	△56.4	3,364	△35.2	2,538	△53.7
2023年12月期第3四半期	110,239	12.0	4,965	95.3	5,187	59.2	5,479	147.4

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 3,917百万円(△48.2%) 2023年12月期第3四半期 7,557百万円(61.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	26.40	—
2023年12月期第3四半期	56.99	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	121,747	67,508	54.7
2023年12月期	129,417	64,730	49.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 66,619百万円 2023年12月期 64,038百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2024年12月期	—	6.50	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	△16.4	3,600	△51.5	5,100	△37.3	3,800	△51.5	39.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) PIAA株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期 3Q	96,363,161株	2023年12月期	96,334,226株
2024年12月期 3Q	181,390株	2023年12月期	180,942株
2024年12月期 3Q	96,167,539株	2023年12月期 3Q	96,137,656株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
(企業結合等関係) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げや設備投資による内需主導で緩やかな回復基調を維持した一方、中国経済の減速影響などの影響で外需は減少傾向が継続しました。米国は、雇用の増加やインフレの鈍化により個人消費がけん引して経済は堅調傾向で推移しました。アセアンでは、インドネシアはインフラ投資と個人消費、タイは外需の下支え、マレーシアは雇用・所得環境の改善による個人消費から、総じて堅調に推移しました。

比較的堅調な経済環境の中、当第3四半期連結累計期間における自動車生産台数は、日本国内では一部自動車メーカーの工場稼働停止などの影響もあり前年同期比で減少となったほか、アセアンにおいても、マレーシアの生産台数は前年同期比で増加しましたが、インドネシアはオートローン金利の高止まりによる販売台数の減少影響、タイは近年の販売台数の頭打ち傾向などから、両国ともに自動車生産台数は前年同期比で減少となり、アセアン3か国の合計においても前年同期比で減少となりました。

このような市場環境の下、当第3四半期連結累計期間におきまして、当社売上高の減少率はアセアン市場との比較では小幅となったものの、主力の日本国内市場との比較では、当社の供給対象車両の生産・出荷停止があったことや金型売上の減少などから市場の減少率より当社売上の減少幅が大きく、売上高は92,068百万円(前年同期比16.5%減)と大幅な減少となりました。利益面については、価格転嫁の推進、不良率の改善や生産性の向上によるプラス面はあったものの、減収影響などから減益となり、営業利益は2,165百万円(前年同期比56.4%減)、経常利益は3,364百万円(前年同期比35.2%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、PIAA株式譲渡に伴う関係会社売却益889百万円等を計上したものの、2,538百万円(前年同期比53.7%減)と、減収減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業

当社売上高の減少率はアセアン市場との比較では小幅となったものの、主力の日本国内市場との比較では、当社の供給対象車両の生産・出荷停止があったことや金型売上の減少などから市場の減少率より当社売上の減少幅が大きく、売上高は、87,869百万円(前年同期比15.9%減)となり、利益面については、価格転嫁の推進、不良率の改善や生産性の向上によるプラス面はあったものの、減収影響などから減益となり、営業利益は、1,970百万円(前年同期比58.7%減)となりました。

#### ② 用品事業

用品事業におきましては、子会社のPIAAの業績を計上しておりますが、同社の株式を8月末に譲渡した関係で6月までの実績を計上しております。このため売上高は5,002百万円(前年実績比29.1%減)と減収となり、利益面についてはインフレを反映した値上げの効果などから営業利益は206百万円(前年実績比4.7%増)と増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は121,747百万円となり、前連結会計年度末比で7,669百万円の減少となりました。流動資産が全体で6,532百万円、固定資産が全体で1,137百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

流動資産の増減は、現金及び預金が961百万円増加したものの、売掛金及び受取手形が3,757百万円、短期貸付金が2,447百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産の増減は、持分法適用会社への投資簿価の増加を主因として、投資その他の資産が全体で1,083百万円増加したものの、有形固定資産が全体で2,142百万円、無形固定資産が全体で78百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は54,238百万円となり、前連結会計年度末比で10,447百万円の減少となりました。主として、流動負債が全体で9,935百万円減少したことによるものであり、固定負債は全体で511百万円の減少とほぼ横ばいの水準で推移しました。

流動負債の増減は、賞与引当金が635百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が2,011百万円、電子記録債務が3,234百万円、短期借入金が1,150百万円、その他の流動負債が2,337百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は67,508百万円となり、前連結会計年度末比で2,777百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が2,538百万円あることや、為替変動による影響を主因としてその他の包括利益が全体で1,182百万円増加したことなどによるものであります。

なお、上記の増減については、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であったPIAA株式会社の全株式の売却により、同社が連結子会社から除外された影響を含んでおります。

(百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月期)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)	増減
資産の部			
流動資産	67,337	60,805	△6,532
固定資産			
有形固定資産	39,701	37,558	△2,142
無形固定資産	123	44	△78
投資その他の資産	22,255	23,338	1,083
固定資産合計	62,079	60,941	△1,137
資産合計	129,417	121,747	△7,669
負債及び純資産の部			
流動負債	53,910	43,975	△9,935
固定負債	10,775	10,263	△511
負債合計	64,686	54,238	△10,447
純資産	64,730	67,508	2,777
負債純資産合計	129,417	121,747	△7,669

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、売上高は、国内売上の減少を海外売上の増加で補填することでほぼ予想通りとなる見通しですが、海外売上は現地通貨ベースでは減少しており、円安影響控除後の実質売上は減少しております。利益面については、不良率の改善や生産性の向上によるプラス面はあったものの、実質売上の減少やインフレや輸入資材の高騰など原材料費の増加が想定以上に進展したことなどから、通期の業績予想を記載の通り下方修正することといたしました。

なお、期末配当予想につきましては、変更はございません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	122,000	4,700	5,700	4,300	44.71
今回修正予想 (B)	122,000	3,600	5,100	3,800	39.51
増減額 (B-A)	0	△1,100	△600	△500	
増減率 (%)	0.0	△23.4	△10.5	△11.6	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	145,897	7,422	8,130	7,838	81.53

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報ならびに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、さまざまな要因により異なる結果となる可能性がありますのでご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,937	9,898
受取手形及び売掛金	24,401	20,643
電子記録債権	379	20
商品及び製品	4,172	2,558
仕掛品	782	1,835
原材料及び貯蔵品	4,427	4,234
短期貸付金	21,648	19,201
その他	2,671	2,485
貸倒引当金	△82	△71
流動資産合計	67,337	60,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,803	10,062
機械装置及び運搬具（純額）	17,337	16,822
工具、器具及び備品（純額）	2,271	2,152
土地	2,302	1,768
リース資産（純額）	3,383	3,388
建設仮勘定	3,602	3,362
有形固定資産合計	39,701	37,558
無形固定資産		
その他	123	44
無形固定資産合計	123	44
投資その他の資産		
投資有価証券	2,958	3,267
長期貸付金	737	754
繰延税金資産	4,804	4,472
その他	13,757	14,846
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	22,255	23,338
固定資産合計	62,079	60,941
資産合計	129,417	121,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,724	13,713
電子記録債務	16,956	13,722
短期借入金	1,150	—
1年内返済予定の長期借入金	920	—
リース債務	640	683
未払法人税等	1,376	407
未払費用	5,480	5,514
賞与引当金	910	1,545
役員賞与引当金	25	33
製品保証引当金	1,764	1,729
その他	8,961	6,624
流動負債合計	53,910	43,975
固定負債		
リース債務	3,257	3,144
退職給付に係る負債	7,296	6,970
資産除去債務	26	26
その他	195	122
固定負債合計	10,775	10,263
負債合計	64,686	54,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,996	9,003
資本剰余金	2,515	2,523
利益剰余金	51,536	52,921
自己株式	△55	△56
株主資本合計	62,993	64,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	—
為替換算調整勘定	2,014	3,098
退職給付に係る調整累計額	△1,058	△871
その他の包括利益累計額合計	1,044	2,227
非支配株主持分	692	888
純資産合計	64,730	67,508
負債純資産合計	129,417	121,747



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	110,239	92,068
売上原価	90,005	76,487
売上総利益	20,233	15,580
販売費及び一般管理費	15,268	13,415
営業利益	4,965	2,165
営業外収益		
受取利息	121	133
受取配当金	5	6
持分法による投資利益	575	1,332
その他	11	34
営業外収益合計	714	1,507
営業外費用		
支払利息	80	95
支払手数料	5	5
為替差損	362	207
その他	44	0
営業外費用合計	492	308
経常利益	5,187	3,364
特別利益		
固定資産処分益	3,971	—
関係会社株式売却益	—	889
特別利益合計	3,971	889
特別損失		
固定資産処分損	583	62
事業構造改善費用	300	179
減損損失	40	—
関係会社株式売却損	1,237	—
特別損失合計	2,162	242
税金等調整前四半期純利益	6,996	4,010
法人税等	1,461	1,359
四半期純利益	5,535	2,650
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,479	2,538

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	5,535	2,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△89
為替換算調整勘定	835	852
退職給付に係る調整額	111	187
持分法適用会社に対する持分相当額	1,056	315
その他の包括利益合計	2,022	1,266
四半期包括利益	7,557	3,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,462	3,721
非支配株主に係る四半期包括利益	95	196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	74,344	5,202	79,546
海外	30,100	592	30,692
顧客との契約から生じる収益	104,444	5,794	110,239
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	104,444	5,794	110,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	1,257	1,275
計	104,463	7,051	111,515
セグメント利益	4,767	197	4,964

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第3四半期連結会計期間において、「自動車部品事業」を構成していたミラー事業を譲渡したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「自動車部品事業」のセグメント資産が13,195百万円減少しております。

3. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,964
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	4,965

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	60,229	3,892	64,122
海外	27,640	305	27,945
顧客との契約から生じる収益	87,869	4,198	92,068
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	87,869	4,198	92,068
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	803	803
計	87,869	5,002	92,871
セグメント利益	1,970	206	2,176

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,176
セグメント間取引消去	△11
四半期連結損益計算書の営業利益	2,165

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	4,617百万円	4,274百万円

## (企業結合等関係)

## 子会社株式の譲渡

## 1. 子会社株式譲渡の概要

## ① 譲渡する子会社の名称及び事業の内容

名称	PIAA株式会社
事業内容	用品事業

## ② 譲渡先の名称

株式会社宇佐美鋳油

## ③ 株式譲渡の理由

当社グループは、残るライティング事業等への選択と集中を進め、限られた経営資源を重点配分していくことで、更に強い競争力を確保できると判断したことから、本件譲渡を決定いたしました。

## ④ 株式譲渡日

2024年8月30日

## ⑤ その他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

## 2. 実施した会計処理の概要

## ① 譲渡損益の金額

関係会社株式売却益 889 百万円

## ② 譲渡した子会社に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	4,764 百万円
固定資産	2,172 百万円
資産合計	6,936 百万円
流動負債	3,994 百万円
固定負債	564 百万円
負債合計	4,559 百万円

## ③ 会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を「関係会社株式売却益」として特別利益に計上しています。

## 3. 株式譲渡した事業が含まれていた報告セグメントの名称

用品事業

## 4. 四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に計上されている譲渡した子会社に係る損益の概算額

売上高	4,198 百万円
営業利益	206 百万円

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。